

クロスカントリーコース整備を調査 町内事務調査（総務厚生常任委員会）

○水槽付消防ポンプ車

既存の消防タンク車は導入してから30年弱経過し、老朽化による故障などが多かったことや野方地域では水利の確保が不十分である地域が多いことから、当該消防ポンプ車を導入したものである。施設整備費は、3164万円で、財源の内訳は、石油貯蔵施設立地対策等交付金や過疎対策事業債などとなっている。



水槽付消防ポンプ車

要望事項 当該消防ポンプ車は、水と一般火災対応の消火剤を混ぜた場合、4倍近い消火効果があるとのことであるが、その効果を認めるため、機会を設けて放水の実演をされるよう要望した。

○高速バス停留所整備工事

東九州自動車道の開通を受け、鹿児島空港への直行バスの停留所が設置されることになった。土地の購入、高速バス乗り入れに必要なバス停留所の整備及び駐車場拡張などの工事を行ったものである。施設整備費は、4131万円で、平成30年2月20日に完成しており、財源の内訳は、ふさと応援基金及び一般財源となっている。



高速バス停留所整備工事を調査

要望事項

停留所については、野方発着の時刻のみ表示されていたため、住民サービスの観点からも空港発着の時刻表示もできないか検討されるよう要望した。また、高速バス乗り場の案内板について、文字が小さく、現在の設置場所では分かりづらいとの意見があり、利用者及び道路を通行する方からも高速バス乗り場がはっきり認識できるように、案内板の大きさと設置場所を再度検討されるよう要望した。

○クロスカントリーコース整備工事

交流人口の増加及び地域の活性化を目的として、陸上合宿において最もニーズの高い1kmのクロスカントリーコースをくにの松原内に整備したものである。施設整備費は、745万円で、平成30年3月27日に完成しており、財源の内訳は、県補助金とふさと応援基金となっている。

要望事項

クロスカントリーコースの維持費削減の観点から、今後整備を計画している2kmコースの整備の際は、芝生に変わる材質についても検討するよう要望した。

○あすばる大崎温泉施設改修工事

温泉の熱量を確保するため、老朽化している機器及び施設の改修を行い、温泉施設の長寿命化をはかり、健全経営を確立するため改修工事を行ったものである。施設整備費は、4093万円で、財源の内訳は、全額一般財源で賄われている。



クロスカントリーコース整備工事を調査